授業改善推進中期プラン 国語 [小学校第4学年]

昭島市立拝島第二小学校

学年等		項目	内 容
· 令和 6	令	学習に関する	○繰り返し出てくる言葉や接続詞、人物の行動、言葉、そして情景を表す表現など、 文章を読むときに注目すべき表現に慣れ、意識しながら読めるようになってきた。 ▲文章の構造を意識して文章を読むこと、段落の構成を意識して文章を書くこと、既 習の漢字を日常的に使っていくことが課題である。また、自分の考えを伝えるときに、 根拠となる叙述や資料を挙げて話したり書いたりすることが難しい。
年度	1和 6 年10月	教科で身に付けさせたい資質・能力	・自分の考えを話したり書いたりする際に、伝えたいことをはっきりとさせ、資料や叙述などの根拠となるものを示し、論理的に説明する力
第 4 学		具体的な授業改善の方策	・文章を読む際には視点を示し、注目すべき言葉や文章を明らかにして読み取らせ、 書くときに生かせるようにする。自分の考えを伝える際は、段落構成やキーワードを取り入れたモデル文や手本を示し、児童が話したり書いたりしやすいようにする。
年	年度末	CVIIINA	○文章の構造を意識して文章を読むことや段落の構成を意識して文章を書くことができてきた。▲既習の漢字を日常的に使っていくことに課題がある。
令和 7 年度 第 5 学 年	10月 年度	学習に関する 児童の実態・課題 教科せたい資質・能力 具体的な授業 第5学児を第6学課 関連を持ての課題	
令和 8 年度 第 6 学	令和 8 年10月	題 学習に関する 児童の実態・課題 教科で身に付けさせたい資質・能力 具体的な授業 改善の方策	
年	度	第6学年にお ける児童の達 成度と中学1年 に向けての課 題	

授業改善推進中期プラン 算数 [小学校第4学年]

昭島市立拝島第二小学校

学年	F等	項目	内 容
令和			○数直線や図などを活用して、立式しようとする児童が増えた。 ▲なぜそうなるのか、などの説明ができない児童が多い。根拠をもって立式・解決する ことが難しい。
6	令和		
年度	6 年 10 月		・既習事項を用いて場面を式や図、言葉を用いて筋道立てて説明する力を付けるとともに、友達の考えと自分の考えで似ていることや違うことなどを関連付けて考えることができる力。
第 4			・授業開始時には、前回の振り返りからスタートし、既習事項を確認する。立式する際には、式だけでなく図や数直線で表し、根拠を説明できるようにさせる。自力解決後には、自分の考えを伝え、友達と比較・検討する場面を設定する。
学			
年		る児童の達成	○自分の考えをもてるようになってきた。▲根拠をもって立式・解決することにはまだ課題があるので、既習事項の確認や図、数直線をなどを用いて、自力解決する活動を継続していく。
令 和		学習に関する 児童の実態・課 題	
7	令和 7 年10月	/ 50	
年度		教科で身に付けさせたい資質・能力	
第 5		具体的な授業 改善の方策	
学年	度	第5学年における児童の達成 をと第6学年に 向けての課題	
令 和 8	令和 8 年 10	学習に関する 児童の実態・課 題	
年度		教科で身に付けさせたい資質・能力	
第 6	月	具体的な授業 改善の方策	
学年	度	第6学年における児童の達成度と中学1年に向けての課題	